

高知商業高等学校2年生が超難関の日商簿記検定1級に合格！

総合マネジメント科ライセンスコース2年生の杉本夏都さんが、令和3年11月実施の日商簿記検定1級に合格しました。

1級挑戦への動機

昨年6月に高崎商科大学と高知商業高校による「高大連携事業」を記念して行われた講演が、彼女の心に火を灯しました。「簿記の力で地域に貢献する人になれ」という講師の熱い言葉をきっかけに、日商簿記検定1級への挑戦が始まったのです。

合格までの道のり

高知商業高校は、令和2年6月18日に高崎商科大学と高大連携事業協定を結びました。この事業は、簿記会計に特化した高大連携事業で、「Haul-A プロジェクト」と名付けられています。事業目標は、職業会計人（公認会計士、税理士、企業会計人、商業科教員）として地域経済社会に貢献する人材を育成することが目標です。

杉本さんは、「日商簿記1級プロジェクト」に参加。難易度の高いWeb講義の視聴や公認会計士からの学習アドバイスが、彼女の学ぶ意欲を支えました。

高校1年次には、令和2年11月実施の日商簿記2級と3級に初挑戦でW合格。その後約1年間かけて1級の猛勉強を開始。毎朝自転車で、早朝に通学し、簿記部の部室で勉学を積み重ねました。

令和3年11月実施の日商簿記1級に初挑戦。結果、高校2年次でのスピード合格を達成、「高知商業初、現役高校生の日商簿記1級合格者」となりました。

難関簿記検定への挑戦で広がる学びの輪～未来の経済人育成に向けた広がり

現在、2名の後輩たちが、先輩杉本の後を追いかけています。高知商業にて難関検定に挑む新しい機運が立ち昇っています。